

第27回全国消防救助シンポジウムの開催

国民保護・防災部参事官

令和6年12月12日（木）、「複雑多様化する大規模自然災害における救助能力の向上」をテーマに、第27回全国消防救助シンポジウムを銀座ブロッサム中央会館において開催いたしました。会場及びオンラインを合わせたハイブリッド開催方式とし、会場約900人、オンライン7,000回線以上の消防関係者に御参加いただきました。また、会場には消防関係企業による救助資機材展示ブースも設けました。

消防庁池田長官の開会挨拶に続き、全国消防長会吉田会長から御祝辞をいただきました。講演では、静岡大学防災総合センター教授 牛山素行氏から、「洪水・土砂災害は起こりうるものが、起こりうる場所で」と題し、国内の洪水・土砂災害による人的被害の発生状況を紹介いただき、土砂災害等が起こりうる地形的特徴について御講演いただきました。また、特別報告では、奥能登広域圏事務組合 能登消防署署長補佐 有手栄作氏に「令和6年能登半島地震から奥能登豪雨について」と題し、能登半島地震に続き、奥能登豪雨と立て続けに大規模災害に見舞われ、受援消防本部として対応する中で見えた課題と関係機関と連携した活動等について紹介いただきました。

事例研究発表では、全国から選ばれた8名の消防職員による、大規模な実災害の対処事例や効果的な安全管理に対する取り組み、大規模自然災害に対する指揮能力向上のための訓練手法等を発表していただきました。

また、総合討論では消防庁鈴木参事官補佐が司会進行を務め、特別報告、事例研究発表をいただいた9名とテーマに沿ってディスカッションを行ないました。

複雑多様化する大規模自然災害に臨機応変に対応することが求められる中、活動隊員の安全を確保しつつ、確実・迅速に要救助者の生命を守るため、過去の災害での実例を教訓とし、現場指揮能力及び救助能力を発展させていただくことを期待しております。



吉田会長の祝辞



講演：牛山 素行氏



総合討論



特別報告：有手 栄作氏



総合討論

第27回全国消防救助シンポジウム事例研究発表

- | | | |
|-----------------|-------|-------------------------------|
| ○ 松山市消防局 | 水口 真登 | 「令和6年7月松山市土砂災害活動事例報告」 |
| ○ 姫路市消防局 | 白羽 優弥 | 「風水害における救助活動」 |
| ○ 和歌山県消防学校 | 松本 渉 | 「受援力向上に向けた自然災害対応教育の実施について」 |
| ○ 北九州市消防局 | 宮崎 大輔 | 「土砂災害現場指揮シミュレーション訓練」 |
| ○ 大阪市消防局 | 沖野 雅彦 | 「能登半島地震の活動を終えて」 |
| ○ 神戸市消防局 | 高松 弘毅 | 「土砂災害現場での効果的な救助手技と安全管理について」 |
| ○ 奈良県広域消防組合消防本部 | 堀田 宜亨 | 「土砂災害における関係機関等との連携活動」 |
| ○ 東京消防庁 | 浅見 賢一 | 「土砂災害現場における効果的な情報収集と安全管理について」 |



水口 真登氏



白羽 優弥氏



松本 渉氏



宮崎 大輔氏



沖野 雅彦氏



高松 弘毅氏



堀田 宜亨氏



浅見 賢一氏

消防庁長官の開会挨拶

第27回全国消防救助シンポジウムの開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

まずは、全国から多くの消防関係機関の皆様をお迎えして、本シンポジウムを開催できることを、主催者を代表しまして、深く感謝申し上げます。

また、本日は、全国消防長会の吉田会長にご出席いただいておりますとともに、静岡大学防災総合センター教授の牛山様には大変お忙しいなかご参加いただき、厚く御礼を申し上げます。

さて、本年も全国で大規模な自然災害が相次いで発生しました。元日には「令和6年能登半島地震」によって石川県能登地方を中心に甚大な被害がもたらされ、夏に至りましては猛暑が非常に長く続いたなか、全国各地で記録的な大雨に見舞われ、能登地方をはじめ、各地で土砂災害や洪水災害などの大きな爪痕を残しました。このような災害に対して、各管轄の消防本部の皆様はもとより、県内外の応援部隊や緊急消防援助隊として出動した全国の消防職員の皆様が、昼夜を分かたず懸命な救助・捜索活動等を実施していただきましたこと、また、皆様が、日頃から地元においても、訓練に励まれ、火災や水難事故などの危険と隣り合わせの現場において人命救助に従事されていることに改めて敬意を表しますとともに、心から感謝を申し上げます。

本日のシンポジウムでは「複雑多様化する大規模自然災害における救助能力の向上」をテーマといたしまして、実災害における対処事例や、過去の災害を踏まえて取り組んでおられる効果的な訓練の事例などを発



池田長官の開会挨拶

表していただき、全国で共有することで、大規模自然災害に対する救助能力の向上につなげていただくことを期待しております。

総務省消防庁といたしましても、激甚化、頻発化、複雑化する自然災害に対応するため、迅速な被災地進出のための体制を整備することなど、緊急消防援助隊の更なる充実強化に努めますとともに、地域防災力の強化等を図って参ります。また、実際に大規模な災害が発生した際には、全国の消防機関の皆様との連携をより密に、互いに一致協力しながら対処していく所存です。現場活動の的確な支援に必要な災害情報や現場映像等の共有について、引き続きのご協力をお願いいたします。

むすびに、全国の消防関係機関のますますのご発展と、お集まりの皆様のご健勝とご多幸を心より祈念いたします。私の挨拶といたします。

問合せ先

消防庁国民保護・防災部参事官付
救助係 澤田 直人
TEL：03-5253-7507